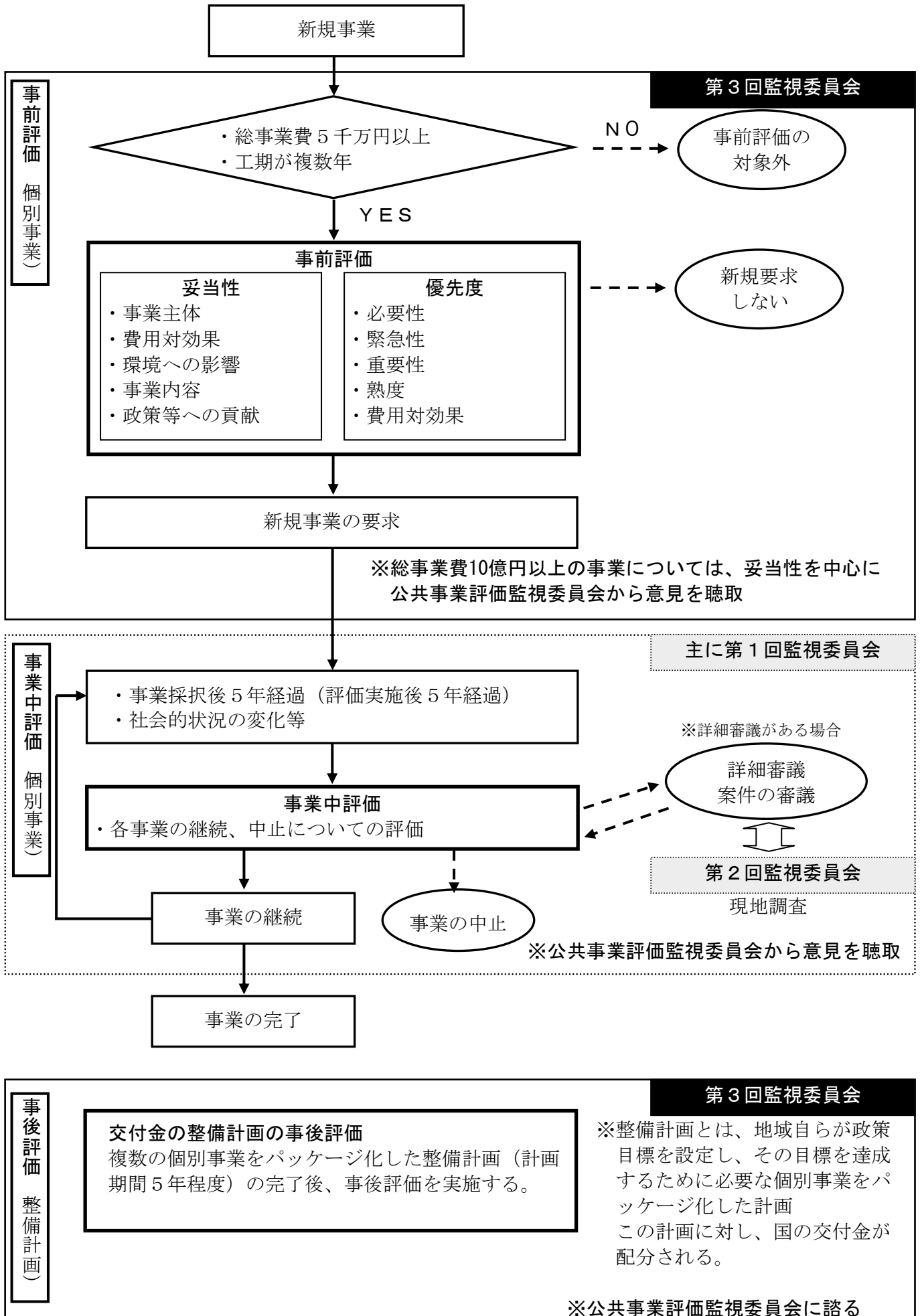


事業評価の概要

- ① 公共事業評価の流れ
- ② 事前評価
 - ・ 事前評価対象一覧
 - ・ 事前評価の視点
- ③ 整備計画の事後評価
 - ・ 整備計画の概要（社会資本整備総合交付金など）
 - ・ 整備計画の事後評価対象一覧
 - ・ 事後評価の視点

公共事業評価の流れ



事前評価対象一覧 (総事業費10億円以上)

	事業名 (事業種別)	路線名 (工区等)	施行場所	事業期間	事業内容	全体事業費 (単位:千円)
①	道路改築事業 (交付金事業)	(国)286号 棒原橋工区	山形市東沢 <small>ひがしざわ</small>	R2～R11	老朽橋架替 L=820m W=6.5(9.5)[13.0]m	2,500,000
②	街路整備事業 (交付金事業)	3・3・4号 本町東大町線	酒田市中町 <small>なかまち</small>	R2～R8	街路整備事業 L=498m W=6.5(11.0)[20.0]m	1,500,000
③	街路整備事業 (交付金事業)	3・4・5号 村山駅東沢線	村山市楯岡 <small>たておか</small>	R2～R8	街路整備事業 L=396m W=6.0(9.0)[18.0]m	1,300,000
④	街路整備事業 (交付金事業)	3・4・3号 羽黒橋加茂線 (第2工区)	鶴岡市東原町 <small>ひがしはらまち</small>	R2～R8	街路整備事業 L=230m W=6.0(9.0)[18.0]m	1,300,000
⑤	街路整備事業 (交付金事業)	3・4・5号 赤湯停車場線 (第3工区)	南陽市三間通 <small>みつまどおり</small>	R2～R8	街路整備事業 L=350m W=6.0(9.0)[18.0]m	2,800,000

事前評価の視点

評価項目	評価の視点	備 考
実施主体	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県が実施することの妥当性を評価 ・ 法令等で実施主体が県であることが定められている場合は、その法令・趣旨等を整理し、理由を説明 	
費用対効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 費用以上の効果が期待できるよう設計されているかを評価 	評価手法が確立していない事業（局所的な防災対策事業など）については、算定しない
環境への影響	<ul style="list-style-type: none"> ・ 懸念される環境への影響に対して、予め適切な対処が講じられるよう計画されているかを評価 	
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 求められているサービス水準の実現に向け、効果的・効率的な事業内容となっているかを評価 	
政策等への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・ 他の事業との連携効果や不便益の軽減が期待できる事業であるか、また、山形県の総合計画に貢献し得る事業であるかを評価 	

防災・安全交付金を活用した整備計画の事例

計画名称

△△地域における総合的地震・津波対策の推進(防災・安全)

計画期間

平成27年度～令和元年度

計画目標

南海トラフ巨大地震などの大災害に備え、特に津波の被害が懸念される△△地域において、住民の津波避難に資する社会資本の老朽化対策や事前防災・減災対策等を一体的・総合的に実施し、安全安心な地域づくりを実現する。

成果目標

○津波・洪水等の浸水被害を軽減させる。 ○安全に避難できる人口を増加させる。



橋梁補修事業

○避難路の安全を確保



橋桁 修繕前



橋桁 修繕後

【整備イメージ】

地震・高潮対策河川事業

○堤防液状化対策



都市防災総合推進事業

- 避難タワー整備
- ハザードマップ作成



【整備イメージ】



津波・高潮危機管理対策緊急事業

○護岸堤防整備



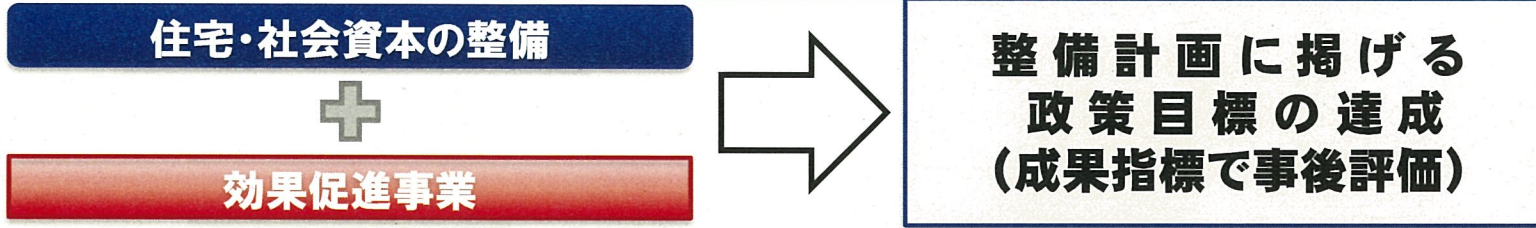
急傾斜地崩壊対策事業

○急傾斜地崩壊対策に併せて避難場所を確保



【整備イメージ】

「南海トラフ巨大地震」の津波による浸水予測範囲



住宅・社会資本の整備

基幹事業

- 道路
- 港湾
- 河川
- 砂防
- 下水道
- 海岸
- 都市公園
- 市街地
- 住宅
- 住環境整備 等

(社会資本整備総合交付金の例)

- ・産業・観光振興等による活力ある地域の形成
例) 都市公園の整備  例) 港湾施設の整備 
- ・民間投資を誘発する取組
例) PFI等を活用した下水汚泥固形燃料化施設等の導入 


(防災・安全交付金の例)

- ・インフラ老朽化対策
例) 橋梁・トンネルの補修 
- ・生活空間の安全確保
例) 通学路の交通安全対策 
- ・事前防災・減災対策
例) 河川堤防の緊急対策 



効果促進事業

- 計画の目標実現のため基幹事業と一体となって、基幹事業の効果を一層高めるために必要な事業・事務
- 全体事業費の2割目途

(社会資本整備総合交付金の例)

- ・アーケードモールの設置・撤去
- ・観光案内情報板の整備  例) 観光案内情報板の整備
- ・社会実験(レンタサイクル、自転車乗り捨てシステム等)
- ・計画検討(無電柱化、観光振興等)

(防災・安全交付金の例)

- ・ハザードマップの作成・活用  例) ハザードマップの作成・活用
- ・防災教育、水防訓練、防災訓練、避難訓練の実施  例) 水防訓練の実施
- ・防犯灯、防犯カメラの整備 等

※このほか、関連社会資本整備事業(基幹事業と一体的に実施することが必要な社会資本整備重点計画法に掲げる社会資本整備事業及び公的賃貸住宅の整備に関する事業)がある。

整備計画の事後評価対象一覧

番号	計画の名称	交付対象	事業種別	事業内容	基幹事業数	全体事業費 (百万円)	計画期間
①	山形新幹線へのアクセス向上、安全で安心な都市の快適空間の整備	山形県	街路	(改築) 現道拡幅、区画整理関連等	4	3,821	H25～H29
②	季節を問わず、地域間の交流連携をサポートし県内産業を支援する活力ある県土づくり	山形県及び20市町村	道路	(改築) 道路改築、現道拡幅、バイパス、橋梁架け替え等	62	16,371	H25～H29
③	高速道路等を中心としたネットワークにより地域を結び災害に強い活力ある県土整備	山形県及び19市町村	道路	(改築) 国道バイパス、ICアクセス、橋梁架け替え・拡幅等	18	8,318	H25～H29
④	すべての人が安心して楽しくとおれる道路空間を形成し、安全安心な地域づくり	山形県及び19市町	道路	(交安) 歩道整備、交差点改良等	77	9,540	H25～H29
⑤	通学路の安全を確保し子供たちが安心してとおれる道路空間整備	山形県及び12市町	道路	(交安) 通学路の歩道整備	43	4,648	H25～H29
⑥	既存の道路施設等を長寿命化して有効活用することによる安全で快適な生活環境整備	山形県及び35市町村	道路	(修繕・改築) トンネル・橋梁補修、橋梁架け替え、長寿命化計画策定、各種点検等	141	43,496	H25～H29
⑦	自然災害に強いまちで安全で快適な暮らしをまもる県土づくり	山形県及び34市町村	道路	(雪寒・修繕) 崩雪対策、流雪溝、落石対策、除雪機械等	306	36,641	H25～H29
⑧	吉野川流域における治水緊急対策(防災・安全)	山形県	河川	吉野川広域河川改修事業	1	1,040	H27～H29
⑨	安全・安心な港湾海岸を維持する海岸保全施設の長寿命化(重点)(防災・安全)	山形県	港湾	海岸保全施設長寿命化計画策定	3	53	H28～H30

事後評価の視点

評価項目	評価の視点	備考
事業効果の 発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 計画の目標や計画の成果目標（定量的指標）に対して、どのような効果が発現されたか 	
定量的指標の 達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 設定した定量的指標（目標値）に対して、実績（実績値）はどの程度だったか。（目標値と実績値に差が出た場合には、その要因を分析する。） 	
今後の方針等	<ul style="list-style-type: none"> 事業効果の発現状況及び定量的指標の達成状況を踏まえ今後の方針等を設定する。 	